



令和元年度ほっかいどう未来輝く子育て大賞 読み聞かせの会「絵本のとびら」受賞

12月18日、地域の子育て支援活動に意欲的に取り組み、地域の子どもや子育て家庭に対して広く貢献したことに對し、読み聞かせの会「絵本のとびら」が「ほっかいどう未来輝く子育て大賞」を受賞されました。

北海道日高振興局の田名瀬雅元くらし・子育て担当部長より表彰状と盾の他、たくさんの絵本が贈呈されました。

絵本のとびらは、地域の子ども達に絵本の魅力を伝え、読み聞かせを通じて本への親近感を与えながら集中力を養う活動を続けられています。



赤い羽根共同募金

第1回チャリティーカラオケ大会

12月7日、門別総合町民センターにおいて、第1回チャリティーカラオケ大会が開催されました。

この大会は、町民に赤い羽根共同募金についてのPRと理解促進を図るために開催されたもので、32組の出場者が集まり自慢の歌声を大勢の観客の前で披露していました。

お昼にはボランティア団体等で作ったカレーライスがふるまわれ、出場者も観客もとてもおいしそうに食べていました。

カラオケ大会終了後には、協賛企業から提供された景品によるお楽しみ抽選会も行われ終日大盛況でした。



永年にわたり地域のスポーツ振興に大きく貢献 酒巻ナツ子さんがスポーツ推進委員功労者表彰を受賞

12月17日、平賀に在住の酒巻ナツ子さんが、永年にわたる功績により、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合から、スポーツ推進委員功労者表彰を受賞され、大鷹町長から伝達されました。

酒巻さんは、平成5年から25年余の永きにわたり当町の体育指導員、スポーツ推進委員を努められ、地域のスポーツ振興に大きく貢献されました。

酒巻さんは「地域の人に支えられ、ここまで続けることができました。感謝しています。」と話されました。



質の高い子育て支援の提供を図るため

第2期日高町子ども・子育て支援事業計画(案策定)

12月18日、日高町子ども・子育て支援会議に、「第2期日高町子ども・子育て支援事業計画(案)」が諮問されました。

現在、家庭環境や地域における子育てをめぐる環境の著しい変化の中にあり、これらの変化に対応すべく子育て環境の整備が求められています。

質の高い幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供を図るため、市町村ごとに5年を1期とした「子ども・子育て支援事業計画」を制定します。

今後この案について、皆様から意見を募集し、寄せられた意見を参考に最終案を決定します。



門別温泉とねっこの湯

新年を祝い、蛸太鼓の演奏

1月1日、門別温泉とねっこの湯で、新年恒例の鏡開きが行われました。

午後12時に営業が開始されると、鏡開きを行い、富川元町振興会「蛸太鼓」による演奏で訪れた入浴客が出迎えられました。

また、門別獅子舞保存会による踊りや餅つきも行われ、鏡開きのお酒と干支石鹼が皆さんに提供されました。



撮影：日高町地域おこし協力隊 畠山 公安

日高国際スキー場がオープン

多数のスキーヤー、ボーダーが初滑りを楽しむ

12月21日、午前11時に日高国際スキー場の今シーズンの営業が開始されました。

オープン初日は、リフト料金が無料ということもあり、多くのスキーヤー、ボーダーが初滑りを楽しみました。

また、スキー協会から、ココアや甘酒が振る舞われました。

当日は雪不足のため、第1リフトのみの営業となりましたが、現在は積雪状況により順次コースが開放されています。

今後、色々なイベントも行われますので是非、日高国際スキー場にお越し下さい。



令和2年日高消防出初式を挙行

消防職員・団員117名、消防車両が勢揃い

1月4日、日高西部消防組合の日高消防出初式が門別総合町民センターで行われました。

式では、消防職員・団員117名、消防車両10台が行進しました。

日高西部消防組合管理者の大鷹町長は「昨今、災害や事故などが複雑多様な傾向をますます強め、激甚化の一途をたどる自然災害の被害は、常識をはるかに上回るものとなっており、ライフラインの寸断、河川の氾濫など猛威を振るい、昨年も全国で多くの尊い命が犠牲となりました。自然災害に対する危機管理体制のさらなる充実を図り、安全で安心して暮らせるまち作りのために関係機関との連携を密にしながら、消防防災力の充実強化に努めたい。」と挨拶しました。

